

令和3年度  
定期監査報告書  
(令和2年度企業会計)

阿蘇市監査委員

# 目 次

## 企 業 会 計

1 監査の対象	1
2 監査の日程	1
3 監査の方法	1
4 監査の結果	1
<<病院事業>>	
阿蘇医療センター	2
<<水道事業>>	
水道課	11
5 講評・所感	15

### (注 記)

- 1 本書中の数値は、単位未満四捨五入している。
- 2 単位未満四捨五入のため、計及び合計が一致しない場合がある。
- 3 「0」は、当該数値はあるが表示単位未満のものまたは、当該数値のない場合も含まれる。
- 4 「-」は、当該数値がない場合である。
- 5 「△」または「-」は数値のマイナスを表す。
- 6 構成比率(%)は、合計が100となるよう一部調整している。

### (関係条文)

#### ・地方自治法第199条第1項

監査委員は、普通地方公共団体の財務に関する事務の執行及び普通地方公共団体の経営に係る事業の管理を監査する。

#### ・地方自治法第199条第4項

監査委員は、毎会計年度少なくとも1回以上期日を定めて第1項の規定による監査をしなければならない。

#### ・地方自治法第199条第9項

監査委員は、監査の結果に関する報告を決定し、これを普通地方公共団体の議会及び長並びに関係ある教育委員会、選挙管理委員会、人事委員会若しくは公平委員会、公安委員会、労働委員会、農業委員会その他法律に基づく委員会または委員に提出し、かつ、これを公表しなければならない。

# 定期監査報告書

## 第1 監査の概要

### 1 監査の対象

令和2年4月1日から令和3年3月31日までの公営企業阿蘇市病院事業及び水道事業における事務及び予算の執行、財産の管理の状況について、地方自治法第199条第1項、第2項及び第4項の規定に基づき監査を実施した。

### 2 監査の期間

令和3年6月11日から令和3年6月25日までの間

### 3 実施した監査手続

監査の対象となった財務に関する事務の執行について、提出された資料並びに提示のあった関係書類及び会計書類及び会計帳簿等に基づいて、証憑突合その他通常実施すべき監査手続を実施した。

また、当事業の管理の状況についても、提出された資料及び提示のあった関係書類等に基づいて、質問を行うとともに、必要と認めたその他の監査手続を実施した。

## 第2 監査の結果

監査の結果、当事業に係る財務に関する事務は、関係法令、会計規程等に準拠して、おおむね適正に執行されているものと認められた。

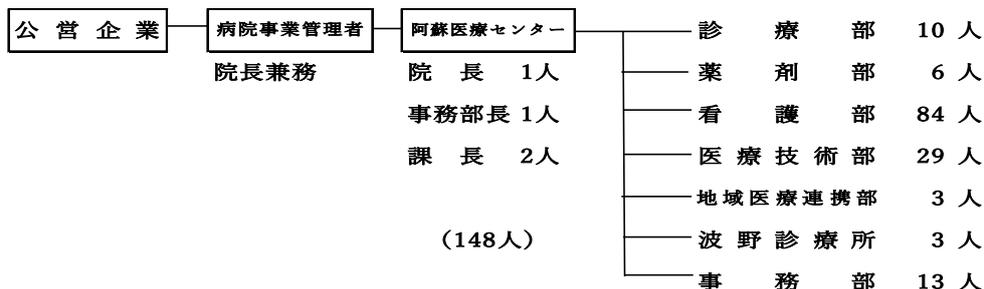
講評・所感においては、改善検討を望むとした事項を記述したが、事務処理における軽易な事項については、その都度、関係職員に対して適切な処理を講ずるよう指示したところである。

今後とも事務処理に十分留意し、検討善処されたい。

# 【阿蘇医療センター】

## (1) 職員構成

令和3年3月31日現在



職種別	定員	令和元年度末現員	令和2年度末現員				
			実績	内波野診療所	前年度増減	定員との比較	
正職員	医師(波野診療所)	15	8	10	1	2	△5
	薬剤師	4	5	6	0	1	2
	看護師(波野診療所)	74	87	86	2	△1	12
	准看護師	12	1	1	0	0	△11
	看護補助	6	0	0	0	0	△6
	社会福祉士	2	3	2	0	△1	0
	診療放射線技師	4	6	6	0	0	2
	臨床検査技師	4	5	6	0	1	2
	臨床工学士	2	4	4	0	0	2
	理学療法士	4	7	7	0	0	3
	作業療法士	2	4	3	0	△1	1
	管理栄養士	2	3	2	0	△1	0
	言語療法士	1	1	1	0	0	0
	ボイラー技士	1	2	2	0	0	1
	事務職員(波野診療所)	8	13	12	1	△1	4
計	141	149	148	4	△1	7	
会計年度任用職員	非常勤医師(波野診療所)	—	32	30	18	△2	—
	看護師	—	9	12	0	3	—
	准看護師	—	4	3	0	△1	—
	臨床検査技師	—	1	1	0	0	—
	職員(波野診療所)	—	1	9	1	8	—
	管理栄養士	—	0	2	0	2	—
	歯科衛生士(波野診療所)	—	1	2	1	1	—
委託関係	医療事務	—	9	14	0	5	—
	看護補助等職員	—	12	17	0	5	—
	給食調理業務	—	12	13	0	1	—
	院内清掃業務	—	7	8	0	1	—
	患者送迎等用務業務	—	1	1	0	0	—
	宿日直警備職員	—	3	5	0	2	—
	SPD業務	—	0	2	0	2	—
売店業務	—	0	3	0	3	—	
計		92	122	20	30		
合計		241	270	24	29		

## (2) 病院のあらまし

名 称：阿蘇医療センター

所 在 地：阿蘇市黒川 1266 番地

開設年月日：昭和 25 年 5 月 15 日

開院年月日：平成 26 年 8 月 6 日

敷地面積：26,335 m<sup>2</sup>

延床面積：11,230 m<sup>2</sup>（建築面積 6,064 m<sup>2</sup>）

病 棟 （免震構造、鉄筋コンクリート 4 階建）

外来棟 （耐震構造、鉄筋コンクリート建）

中央診療棟（免震構造、鉄筋コンクリート 2 階建）

医 師 住 宅：603 m<sup>2</sup>（RC造陸屋根、2 階建、3 棟、間取り 3LDK）

## (3) 事務事業の概要

### ① 令和 2 年度の主な事務事業

#### 1. 災害・感染症等の医療への対応について

地域災害拠点病院としては、7 月の豪雨による球磨川流域の浸水災害地域への支援として、熊本県からの要請により当院の DMAT 隊を派遣し、災害医療に従事し、被災地支援に貢献した。

また、職員の異動・退職等により、欠員となっている隊員の資格取得並びに技能維持のための研修を受講し、DMAT 隊の機能維持を図っている。

感染症等への対応としては、新型コロナウイルス感染症における「帰国者・接触者（発熱）外来」を設置し、新型コロナウイルス感染症疑似症患者の診察（検査含む）及びトリアージを実施した。

また、昼夜を問わず、新型コロナウイルス感染症陽性患者等（疑似症患者含む）の入院治療による受入を実施した。

なお、当院所属の感染管理認定看護師などによる阿蘇地域の医療機関並びに高齢者施設等への感染対策に係る講習、指導等を実施することにより、感染拡大（クラスター）防止を図っている。

院内感染を防止するために感染に係る研修会を実施するとともに面会などの病院への立入を禁止とし、入院患者の感染を極力回避する体制を継続している。

#### 2. 収益増収への取り組みについて

新型コロナウイルス感染症への対応で、4 階病棟を閉鎖していることから 84 床での運用となっているが、病床確保における国の運営費補助金等の活用により、入院制限における収益の減収分を補っている。

また、常勤医師の確保を図り診療科（整形外科）を増設し、外来患者の増加を図っている。

なお、このような状況下でも診療単価（前年比入院単価：104.2%、外来単価：102.6%）の増額を達成し、本来の稼働に戻った時には収益増収の見込みとなっている。

令和4年度の厚生労働省が認める DPC 対象病院（診療群分類包括評価）となるため本申請に向けた登録を行った。

また、メディカルコードシステムの活用により、院内の関係部署による定期的な検討会を開催し、医学管理料の算定率向上を図っている。

### 3. 病院の利用状況について

外来診療日数年間 243 日で、①延べ外来患者数 52,386 人（波野診療所 3,471 人含む）、一日平均 201.3 人（前年度比 16 人減）、波野診療所 18.4 人、②延べ入院患者数 21,446 人（前年度比 5,673 人減）、病床稼働率（4 階病棟閉鎖）49.0%（前年度比 12.7%減）と稼働が減少しているが、診療単価では入院が 36,695 円（前年度比 1,508 円増）、外来が 11,163 円（前年度比 285 円増）となり、外来・入院診療単価ともに毎年増額となっており、平時に戻った場合には効率的な収益増加が見込まれる体制となっている。

なお、患者紹介率の上昇により、圏域医療機関との連携関係を構築することで、提供する医療の質向上を図っている。

また、女性看護師の若年採用による産前・産後休暇取得者が大幅に増えていることから、看護体制（10：1）の維持と働く環境の改善への取り組みを行うことで、離職防止を図るとともに適正人数の配置を維持するため、引き続き各種ガイダンスや養成学校の勧誘訪問を実施していく。

## (診療科目)

当年度	前年度
阿蘇医療センター 内科 循環器内科 脳神経内科 リウマチ膠原病内科 脳神経外科 消化器外科 乳腺・内分泌外科 整形外科 リハビリテーション科 腫瘍内科 小児科 糖尿病・代謝・内分泌内科 歯科口腔外科 消化器内科 血液内科 腎臓内科 耳鼻咽喉科 呼吸器内科	阿蘇医療センター 内科 循環器内科 脳神経内科 リウマチ膠原病内科 脳神経外科 消化器外科 乳腺・内分泌外科 整形外科 リハビリテーション科 腫瘍内科 小児科 糖尿病・代謝・内分泌内科 歯科口腔外科 消化器内科 血液内科 腎臓内科 耳鼻咽喉科
波野診療所 内科 外科 整形外科 歯科	波野診療所 内科 外科 整形外科 歯科

## (病床数)

区分	病棟	当年度	前年度
病床数	一般	120床	120床
	療養	0床	0床
	感染症	4床	4床
病床利用率(感染症病床を除く)		49.0%	61.7%

## ② 事務実績の状況

病院事業の業務実績は表1のとおりで、阿蘇医療センターは令和2年度入院患者数21,446人（1日平均58.8人）、前年度27,119人（1日平均74.1人）、外来患者数48,915人（1日平均201.3人）、前年度52,106人（1日平均217.1人）で前年度と比較すると、入院患者数で5,673人（20.9%）の減、外来患者で3,191人（6.1%）の減であった。

波野診療所は医科の令和2年度患者数2,668人（1日平均14.1人）、前年度2,550人で（1日平均13.5人）で前年度と比較すると118人の増、歯科では令和2年度患者数803人（1日平均8.8人）、前年度967人（1日平均11.1人）で、前年度から164人の減となっている。

（表1）患者数の推移

区 分	当年度	1日平均	前年度	1日平均	比較	
					増減 (人)	比率 (%)
阿蘇医療センター						
入院患者数	21,446人	58.8人	27,119人	74.1人	△5,673	△20.9
外来患者数	48,915人	201.3人	52,106人	217.1人	△3,191	△6.1
波野診療所						
外来患者数（医科）	2,668人	14.1人	2,550人	13.5人	118	4.6
外来患者数（歯科）	803人	8.8人	967人	11.1人	△164	△17.0
合 計	73,832人		82,742人		△8,910	△10.8

（表2）科別患者（阿蘇医療センター）

（単位：人）

区分	入 院										計
	内科	外科	整形外科	小児科	脳神経外科	循環器科	脳神経内科	消化器外科	代謝内科	歯科口腔外科	
4月	535	0	167	0	295	500	0	378	0	0	1,875
5月	630	0	280	2	261	488	0	238	0	6	1,905
6月	480	0	388	0	334	449	0	300	0	7	1,958
7月	719	0	326	0	268	311	0	244	0	20	1,888
8月	789	0	315	6	242	292	0	259	0	10	1,913
9月	852	0	260	4	261	308	0	161	1	7	1,854
10月	841	0	337	2	271	304	0	212	0	12	1,979
11月	756	0	281	1	219	169	0	169	2	0	1,597
12月	697	0	283	0	199	258	0	222	1	2	1,662
1月	754	0	256	11	268	274	0	213	0	20	1,796
2月	591	0	281	0	199	318	0	215	0	14	1,618
3月	555	0	111	1	243	273	0	207	0	11	1,401
合 計	8,199	0	3,285	27	3,060	3,944	0	2,818	4	109	21,446
1日平均	22	0	9	0	8	11	0	8	0	0	59
診療日数											

区分	外 来																	
	内科	整形 外科	小児科	循環器 内科	脳神経 内科	脳神経 外科	消化器 外科	呼吸器 原病科	乳腺内 分泌外	代謝 内科	血液・免 疫内科	腫瘍 内科	消化器 内科	歯科口 腔外科	耳鼻 咽喉科	腎臓 内科	呼吸器 内科	計
4月	1,449	506	142	474	91	362	164	48	28	228	10	0	69	52	83	5	0	3,711
5月	1,285	430	124	452	74	396	162	47	20	210	12	0	56	61	58	9	0	3,396
6月	1,437	613	162	531	91	561	152	50	24	190	14	0	77	73	66	13	23	4,077
7月	1,596	616	203	530	104	534	152	56	33	242	10	0	55	70	60	13	29	4,303
8月	1,504	633	230	539	91	522	204	54	15	208	9	0	76	61	45	14	25	4,230
9月	1,488	558	174	513	106	493	198	50	26	217	13	0	83	76	69	25	35	4,124
10月	1,745	618	195	411	80	569	191	50	41	240	14	0	87	93	76	11	30	4,451
11月	1,525	560	221	430	94	511	152	49	34	208	12	0	78	75	57	18	39	4,063
12月	1,589	557	207	478	97	567	166	53	25	216	17	0	105	70	70	17	28	4,262
1月	1,486	489	201	431	79	529	136	45	25	219	13	0	88	80	60	13	29	3,923
2月	1,414	556	214	407	80	498	132	55	20	193	10	0	86	64	52	15	39	3,835
3月	1,637	723	283	482	100	607	129	58	28	187	14	0	89	84	75	12	32	4,540
合計	18,155	6,859	2,356	5,678	1,087	6,149	1,938	615	319	2,558	148	0	949	859	771	165	309	48,915
1日 平均 診療 日数	75	36	10	23	21	33	15	51	27	26	12	0	7	9	16	7	4	
	243	188	241	242	51	188	129	12	12	99	12	1	144	93	49	24	81	

(表3) 経営の状況

(単位：円：%)

区 分	30年度	元年度 (31年度)	2年度
総収益	2,194,717,049	2,142,133,528	2,945,329,441
(うち医業収益)	1,730,291,627	1,616,035,978	1,444,460,862
総費用	2,511,510,369	2,519,629,004	2,486,462,565
当年度純損益	△ 316,793,320	△ 377,495,476	458,866,876
その他未処分利益剰余金変動額	—	—	—
当年度未処理欠損金	△ 2,118,253,170	△ 2,495,748,646	△ 2,036,881,770
単年度利益比率	△ 18.3	△ 23.4	31.8
利益剰余金比率	△ 122.4	△ 154.4	△ 141.0
総収支比率	87.4	85.0	118.5

(4) 収益的収入及び支出 (令和2年4月1日～令和3年3月31日まで)

事業収益は、予算現額 26 億 7,497 万 7 千円に対し、決算額 29 億 5,417 万 1,850 円で、執行率 110.4%となる。事業費用は、予算現額 26 億 7,497 万 7 千円に対し、決算額 24 億 5,893 万 5,770 円で、不用額は 2 億 1,604 万 1,230 円となっている。

収 入 (消費税込)

(単位：円)

区 分	予 算 現 額			決算額	予算額に比べて 決算額の増減	執行率	備 考 (仮受消費税)
	当初予算額	補正予算額	計				
第1款 病院事業収益	2,640,388,000	34,589,000	2,674,977,000	2,954,171,850	279,194,850	110.4	8,842,409
第1項 医業収益	2,175,944,000	△ 719,579,000	1,456,365,000	1,452,605,050	△ 3,759,950	99.7	8,144,188
第2項 医業外収益	464,394,000	754,168,000	1,218,562,000	1,500,981,823	282,419,823	123.2	698,221
第3項 特別利益	50,000	0	50,000	584,977	534,977	1,170.0	0

支 出 (消費税込)

(単位：円)

区 分	予 算 現 額				決算額	地方公営企業法第26条 第2項の規定による 繰越額	不用額	備 考 (仮払消費税)
	当初予算額	補正・ 予備費	地方公営企業法 第26条第2項の 規定による 繰越額	計				
第1款 病院事業費用	2,640,388,000	34,589,000	0	2,674,977,000	2,458,935,770	0	216,041,230	64,481,586
第1項 医業費用	2,577,074,000	34,589,000	0	2,611,663,000	2,400,034,786	0	211,628,214	64,481,586
第2項 医業外費用	55,487,000	2,162,100	0	57,649,100	56,469,390	0	1,179,710	0
第3項 特別損失	1,900,000	531,594	0	2,431,594	2,431,594	0	0	0
第4項 予備費	5,927,000	△ 2,693,694	0	3,233,306	0	0	3,233,306	0

(5) 資本的収入及び支出

資本的収入は、予算現額 3 億 7,175 万 4 千円に対し、決算額 2 億 9,089 万円で執行率 78.2%となる。資本的支出は、予算現額 4 億 7,395 万 8 千円に対し、決算額 4 億 4,249 万 8,666 円で、地方公営企業法第 26 条の規定による繰越額 1,548 万 8 千円を差引くと、不用額は 1,597 万 1,334 円となっている。

なお、資本的収入が資本的支出に対して不足する額 1 億 5,160 万 8,666 円は、過年度分損益勘定留保資金で補填されている。

収 入（消費税込）

（単位：円）

区 分	予 算 現 額				決算額	執行率	予算額に比べ 決算額の増減	備 考 (仮受消費税)
	当初予算額	補正予算額	継続費繰次繰 越額に係る財 源充当額	計				
第1款 資本的収入	318,929,000	52,825,000	0	371,754,000	290,890,000	78.2	△ 80,864,000	0
第1項 企業債	260,000,000	0	0	260,000,000	208,600,000	80.2	△ 51,400,000	0
第2項 他会計負担金	58,929,000	0	0	58,929,000	58,929,000	100.0	0	0
第3項 補助金	0	52,825,000	0	52,825,000	23,361,000	44.2	△ 29,464,000	0

支 出（消費税込み）

（単位：円）

区 分	予 算 現 額				決 算 額	地方公営企業法 第26条の規定に よる繰越額	不 用 額	備 考 (仮払消費税)
	当初予算額	補正・予備費	継続費繰次 繰越額	合 計				
第1款 資本的支出	421,133,000	52,825,000	0	473,958,000	442,498,666	15,488,000	15,971,334	26,932,599
第1項 建設改良費	275,000,000	52,825,000	0	327,825,000	296,366,593	15,488,000	15,970,407	26,932,599
第2項 企業債償還金	117,859,000	0	0	117,859,000	117,858,740	0	260	0
第3項 他会計借入金償還金	28,274,000	0	0	28,274,000	28,273,333	0	667	0

(6) 企業債償還状況

（単位：円）

前年度末残高	本年度借入高	本年度償還高	本年度末残高
3,128,418,985	208,600,000	117,858,740	3,219,160,245

### (7) 経営の状況〔比較損益計算書〕

本年度の経営状況は、以下の比較損益計算書のとおり、総収入 29 億 4,532 万 9,441 円に対し、総支出 24 億 8,646 万 2,565 円で 4 億 5,886 万 6,876 円が当年度純利益となっている。

収 入（消費税抜き）

（単位：円：％）

項 目	30年度	元年度(A)	2年度(B)	増減額 (C) (B) - (A)	増減率 C/A*100
1 医業収益	1,730,291,627	1,616,035,978	1,444,460,862	△ 171,575,116	△ 10.6
①入院収益	1,056,062,400	951,145,676	791,214,005	△ 159,931,671	△ 16.8
②外来収益	602,999,388	591,146,436	571,912,565	△ 19,233,871	△ 3.3
③その他医業収益	71,229,839	73,743,866	81,334,292	7,590,426	10.3
2 医業外収益	447,432,552	519,075,941	1,500,283,602	981,207,661	189.0
①受取利息配当金	2,576	2,902	2,404	△ 498	△ 17.2
②他会計負担金	304,024,000	344,164,000	323,723,000	△ 20,441,000	△ 5.9
③補助金	23,867,640	41,781,980	1,059,803,860	1,018,021,880	2,436.5
④長期前受金戻入	110,475,933	123,760,578	106,739,051	△ 17,021,527	△ 13.8
⑤その他医業外収益	9,062,403	9,366,481	10,015,287	648,806	6.9
3 特別利益	16,992,870	7,021,609	584,977	△ 6,436,632	△ 91.7
①過年度損益修正益	4,949,870	7,021,609	584,977	△ 6,436,632	△ 91.7
②その他特別利益	12,043,000	0	0	0	-
合 計	2,194,717,049	2,142,133,528	2,945,329,441	803,195,913	37.5

支 出（消費税抜き）

（単位：円：％）

項 目	30年度	元年度(A)	2年度(B)	増減額 (C) (B) - (A)	増減率 C/A*100
1 医業費用	2,390,821,516	2,402,952,907	2,335,553,200	△ 67,399,707	△ 2.8
① 給与費	1,351,585,723	1,390,915,622	1,367,904,493	△ 23,011,129	△ 1.7
② 材料費	290,121,040	262,134,267	252,447,255	△ 9,687,012	△ 3.7
③ 経費	429,072,826	454,761,066	483,705,538	28,944,472	6.4
④ 減価償却費	315,224,639	291,865,493	229,501,318	△ 62,364,175	△ 21.4
⑤ 資産減耗費	0	0	0	0	-
⑥ 研究研修費	4,817,288	3,276,459	1,994,596	△ 1,281,863	△ 39.1
2 医業外費用	115,896,360	116,211,874	148,477,771	32,265,897	27.8
① 支払利息及び 企業債取扱諸費	41,428,083	41,372,026	40,151,609	△ 1,220,417	△ 2.9
② 消費税	3,957,900	5,267,100	6,662,100	1,395,000	26.5
③ 雑支出	60,854,696	59,917,067	92,008,381	32,091,314	53.6
④ 雑損失	0	0	0	0	-
⑤ 繰延勘定償却	9,655,681	9,655,681	9,655,681	0	-
3 特別損失	4,792,493	464,223	2,431,594	1,967,371	423.8
① 過年度損益修正損	4,792,493	464,223	2,431,594	1,967,371	423.8
② その他特別損失	0	0	0	0	-
合 計	2,511,510,369	2,519,629,004	2,486,462,565	△ 33,166,439	△ 1.3

## 【水道課】

### (1) 職員構成

水道局長(1) - 課長(1) - 課長補佐(1)	}	管理係	係長(補佐兼務)、主任(1)、主事(1)、 会計年度任用職員(1)
		工務係	係長(1)、主任(1)、再任用(1)、 会計年度任用職員(1)
		支所	内牧水道分室 主任(2)、会計年度任用職員(3) 波野水道分室 参事(1)、会計年度任用職員(2)
企業出納員(1)			

水道施設の新設、更新及び維持管理、使用水量の認定、検針、水道料金出納等の事務を本庁、各支所分室の職員19人(会計年度任用職員を含む)で執行しており、その事務事業はおおむね適正に執行されているものと認めた。

### (2) 収益的収入及び支出

事業収益は、予算現額5億1,187万3千円に対し決算額5億59万4,889円で、執行率97.8%となる。事業費用は、予算現額4億9,055万円に対し決算額4億3,968万1,534円で執行率89.6%となっている。

収益的収入(消費税込み)

(単位:円:%)

区 分	予 算 現 額			決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	執行率	備 考 (仮受消費税)
	当初予算額	補正予算額	合計				
第1款 上水道事業収益	502,480,000	0	502,480,000	492,619,703	△9,860,297	98.0	37,744,649
第1項 営業収益	443,220,000	0	443,220,000	433,517,809	△9,702,191	97.8	37,236,588
第2項 営業外収益	59,260,000	0	59,260,000	59,101,894	△158,106	99.7	508,061
第2款 簡易水道事業収益	9,393,000	0	9,393,000	7,975,186	△1,417,814	84.9	410,746
第1項 営業収益	3,670,000	0	3,670,000	2,130,983	△1,539,017	58.1	193,663
第2項 営業外収益	5,723,000	0	5,723,000	5,844,203	121,203	102.1	217,083
合 計	511,873,000	0	511,873,000	500,594,889	△11,278,111	97.8	38,155,395

収益的支出(消費税込み)

(単位:円:%)

区 分	予 算 現 額					決 算 額	執行率	備 考 (仮払消費税)
	当初予算額	補正額	予備費	流用	合計			
第1款 上水道事業費用	465,150,000	0	0	0	465,150,000	425,903,171	91.6	10,643,269
第1項 営業費用	422,450,000	0	0	0	422,450,000	393,100,037	93.1	10,641,512
第2項 営業外費用	42,500,000	0	0	0	42,500,000	32,783,802	77.1	0
第3項 特別損失	200,000	0	0	0	200,000	19,332	9.7	1,757
第2款 簡易水道事業費用	20,400,000	0	0	0	20,400,000	13,778,363	67.5	611,446
第1項 営業費用	18,570,000	0	0	0	18,570,000	13,042,154	70.2	611,446
第2項 営業外費用	1,780,000	0	0	0	1,780,000	736,209	41.4	0
第3項 特別損失	50,000	0	0	0	50,000	0	0.0	0
第3款 予備費	5,000,000	0	0	0	5,000,000	0	0.0	0
第1項 予備費	5,000,000	0	0	0	5,000,000	0	0.0	0
合 計	490,550,000	0	0	0	490,550,000	439,681,534	89.6	11,254,715

### (3) 資本的収入及び支出

資本的収入は、予算現額 2 億 3,474 万 1 千円に対し、決算額 2 億 1,387 万 4 千円で執行率 91.1%となり、資本的支出は、予算現額 4 億 8,040 万円に対し、決算額 4 億 148 万 7,407 円で執行率 83.6%となる。

#### 資本的収入（消費税込み）

(単位：円：%)

区 分	予 算 現 額			決算額	執行率	備考 (仮受消費税)
	当初予算額	補正額	合計			
第 1 款 上水道事業	231,262,000	0	231,262,000	210,534,000	91.0	652,000
第1項 企業債	200,000,000	0	200,000,000	180,000,000	90.0	0
第 3 項 他会計補助金	23,362,000	0	23,362,000	23,362,000	100.0	0
第4項 工事負担金	0	0	0	0	0.0	0
第5項 加入金	7,900,000	0	7,900,000	7,172,000	90.8	652,000
第8項 国庫補助金	0	0	0	0	0.0	0
第 2 款 簡易水道事業	3,479,000	0	3,479,000	3,340,000	96.0	0
第2項 加入金	140,000	0	140,000	0	0.0	0
第3項 他会計補助金	3,339,000	0	3,339,000	3,340,000	100.0	0
合 計	234,741,000	0	234,741,000	213,874,000	91.1	652,000

#### 資本的支出（消費税込み）

(単位：円：%)

区 分	予 算 現 額				決算額	執行率	地公企法第26条による翌年度繰越額	備考 (仮払消費税)
	当初予算額	補正・流用額	地公企法第26条による繰越額	合計				
第1款 上水道事業	463,570,000	0	0	463,570,000	396,927,900	85.6	0	22,500,218
第1項 建設改良費	314,250,000	0	0	314,250,000	247,726,603	78.8	0	22,500,218
第2項 企業債償還金	149,320,000	0	0	149,320,000	149,201,297	99.9	0	0
第2款 簡易水道事業	11,830,000	0	0	11,830,000	4,559,507	38.5	0	0
第1項 建設改良費	7,230,000	0	0	7,230,000	0	0.0	0	0
第2項 企業債償還金	4,600,000	0	0	4,600,000	4,559,507	99.1	0	0
第3款 予備費	5,000,000	0	0	5,000,000	0	0.0	0	0
第1項 予備費	5,000,000	0	0	5,000,000	0	0.0	0	0
合 計	480,400,000	0	0	480,400,000	401,487,407	83.6	0	22,500,218

#### (4) 経営の状況〔比較損益計算書〕

本年度の経営状況は、比較損益計算書のとおりで、総収入 4 億 6,243 万 9,494 円に対し、総支出 4 億 2,338 万 9,757 円で 3,904 万 9,737 円が当年度純利益となっている。

#### 収入（消費税抜き）

（単位：円：％）

	令和2年度(A)		令和元年度(B)		増減額 (C) (A)-(B)	増減率 C/B*100
	金額	構成比	金額	構成比	金額	
1 営業収益	398,218,541	86.1	402,318,390	85.8	△ 4,099,849	△ 1.0
①給水収益	372,858,932	80.6	376,576,170	80.3	△ 3,717,238	△ 1.0
②受託工事収益	0	0.0	0	0.0	0	—
③その他の営業収益	25,359,609	5.5	25,742,220	5.5	△ 382,611	△ 1.5
2 営業外収益	64,220,953	13.9	66,489,516	14.2	△ 2,268,563	△ 3.4
①受取利息及び配当金	195,277	0.0	248,369	0.1	△ 53,092	△ 21.4
②他会計補助金	6,096,000	1.3	6,581,000	1.4	△ 485,000	△ 7.4
③長期前受金戻入	50,534,403	10.9	50,308,794	10.7	225,609	0.4
④雑収益	7,395,273	1.6	9,351,353	2.0	△ 1,956,080	△ 20.9
⑤補助金	0	0.0	0	0.0	0	—
3 特別利益	0	0.0	0	0.0	0	—
収入合計	462,439,494	100.0	468,807,906	100.0	△ 6,368,412	△ 1.36

#### 支出（消費税抜き）

（単位：円：％）

	令和2年度(A)		令和元年度(B)		増減額 (C) (A)-(B)	増減率 C/B*100
	金額	構成比	金額	構成比	金額	
1 営業費用	394,889,233	93.3	395,925,266	92.1	△ 1,036,033	△ 0.3
①原水及び浄水費	49,818,015	11.8	50,905,125	11.8	△ 1,087,110	△ 2.1
②配水及び給水費	39,721,424	9.4	34,801,362	8.1	4,920,062	14.1
③総係費	124,573,952	29.4	126,494,041	29.4	△ 1,920,089	△ 1.5
④減価償却費	180,321,940	42.6	174,516,195	40.6	5,805,745	3.3
⑤資産減耗費	453,902	0.1	9,208,543	2.1	△ 8,754,641	△ 95.1
2 営業外費用	28,482,949	6.7	34,049,818	7.9	△ 5,566,869	△ 16.3
①支払利息及び企業債取扱諸費	28,468,511	6.7	31,192,909	7.3	△ 2,724,398	△ 8.7
②雑支出	14,438	0.0	2,856,909	0.7	△ 2,842,471	△ 99.5
③繰延勘定償却	0	0.0	0	0.0	0	—
3 特別損失	17,575	0.0	84,106	0.0	△ 66,531	△ 79.1
①過年度損益修正損	17,575	0.0	84,106	0.0	△ 66,531	△ 79.1
支出合計	423,389,757	100.0	430,059,190	100.0	△ 6,669,433	△ 1.6
当年度純利益	39,049,737		38,748,716		301,021	0.78

## 【 収入未済額調 】

(単位：円：%)

	調定年度	調定額		収納額		不納欠損額		収納率	未納額	
		件数	金額 (円)	件数	金額 (円)	件数	金額(円)	(%)	件数	金額 (円)
過 年 度	平成12年度	3	20,494	0	0	0	0	0.0	3	20,494
	平成13年度	15	97,805	1	2,175	0	0	2.2	14	95,630
	平成14年度	22	169,580	0	0	0	0	0.0	22	169,580
	平成15年度	12	75,600	0	0	0	0	0.0	12	75,600
	平成16年度	21	125,119	12	20,957	0	0	16.7	16	104,162
	平成17年度	54	296,117	8	14,443	0	0	4.9	51	281,674
	平成18年度	62	279,622	13	21,964	0	0	7.9	53	257,658
	平成19年度	70	322,480	13	53,617	0	0	16.6	63	268,863
	平成20年度	48	1,920,658	7	18,842	0	0	1.0	44	1,901,816
	平成21年度	60	2,614,567	16	67,946	0	0	2.6	48	2,546,621
	平成22年度	73	2,384,628	2	5,202	0	0	0.2	72	2,379,426
	平成23年度	41	896,545	1	2,252	0	0	0.3	40	894,293
	平成24年度	11	34,458	7	12,557	0	0	36.4	5	21,901
	平成25年度	89	265,446	5	6,543	0	0	2.5	86	258,903
	平成26年度	95	225,197	0	0	0	0	0.0	95	225,197
	平成27年度	182	744,033	1	232	0	0	0.0	182	743,801
	平成28年度	188	1,093,016	19	60,163	0	0	5.5	177	1,032,853
	平成29年度	144	736,537	27	73,756	0	0	10.0	123	662,781
	平成30年度	230	1,338,502	93	258,530	0	0	19.3	155	1,079,972
	令和元年度	12,090	38,053,531	11,907	37,145,431	0	0	97.6	325	908,100
過年度計		13,510	51,693,935	12,132	37,764,610	0	0	73.1	1,586	13,929,325
現年度計		119,088	410,127,924	107,564	372,513,364	0	0	90.8	11,857	37,614,560
合 計		132,598	461,821,859	119,696	410,277,974	0	0	88.8	13,443	51,543,885

※ 令和3年3月末現在では、3月分の水道料金は未納となっている。

※ 収納に関しては内金で納付されたものがあり、必ずしも差し引いた未納額の件数にはならない。

## 【講評・所感】

### 《阿蘇医療センター》

令和 2 年度決算においては、総収益 2,945,329,441 円、総費用 2,486,462,565 円、当年度純利益 458,866,876 円を計上し、単年度利益を確保した。

但し、内訳としては新型コロナウイルス感染症に伴う受診控え、4 階病棟閉鎖等により、医業収益は前年度から 171,575,116 円の減少であったが、補助金総額 1,059,803,860 円の医業外収益により利益計上に至った。

現状 2,036,881,770 円の欠損金を抱え今後医療機器・ソフトウェアの導入、更新が必要となるため増収策を期待したい。

なお、医療機器、ソフトウェア更新にあたっては、専門性やノウハウ面を考慮すれば随意契約を一律に否とするものではないが、より慎重な対応を望む。

また、未収金については、時効の援用を許すべきではないものの費用対策効果の面から様式作成を検討し、透明化すべきと思われる。

最後にコロナ禍の中、新たなデルタ・プラスが出現しており、今後さらにイプシロン株、ゼータ株等の出現の可能性もあり、阿蘇地区の中核医療機関として、また、エッセンシャル・ワーカーとして地域住民の安全・安心のため業務に邁進されることを期待する。

## 《水道課》

令和2年度は、事業収入 462,439,494 円（前年度比 6,368,412 円減）、支出は 423,389,757 円（前年度比 6,669,433 円減）を計上し、今年度の純利益は 39,049,737 円（前年度比 301,021 円増）の減収増益となった。

事務面に於いては、水道施設管理業務契約者との契約書における住所欄未記入、また、起案文書の決済印漏れが散見された。

事務処理に於いて、完璧に処理することは不可能ではあるが、決裁後、起案者は決裁者の捺印・決裁印の確認をしてもらいたい。

未収金においては、時効の援用を許すものではないが、費用対効果を考慮してマニュアル等を整備し、透明化に努めてもらいたい。

最後に、給水人口の減少が続くならば、事業収入の増加は見込めなくなり、また水道管の老朽化に伴う費用増加の可能性があるため、公営企業として検討する必要がある。